

●マスコミ・ソフィア会年末 講演とワインの会●

今年開催された縄文展になぜ多くの人が訪れたのか？

今こそ、知ろう「縄文道」

-超グローバル時代を生き抜くカギはここある! -

講師 加藤春一氏

(1968経・経 縄文道研究所代表理事)

約30年前から岡本太郎画伯の著書「4次元との対話—縄文土器論」に触発され逞しく生き抜いてきた縄文人の生き様に共鳴。3年前に「縄文道」を提唱し始め、2018年1月に「縄文道」は特許庁から正式に認可を受け、世界に「縄文道」を発信している。



日時:2018年12月10日(月) 18:30-20:30 (18:00より受付)

場所:四ツ谷上智大学構内6号館(ソフィアタワー6階第A,B会議室)

会費:会員3,000円 学生500円

(講演会終了後「縄文」を着にワインを飲んで大いに語ろう)

講演内容

今世界は、国家・人種・宗教対立まさにカオスを迎えどこへ向かおうとしているのか、日本も例外ではない。今こそ日本は、縄文に学ぶべき時を迎えたといっている。縄文は、約1万3,000年も平和社会が続いた日本人の源流であり誇りなのだ。今年日本で縄文展が開催されたが、日本より早く大英博物館でも開催されたほどだ。世界は、今縄文に大注目。画家岡本太郎は、縄文パワーが日本人の生命力の根源だとし、哲学者梅原猛は、「日本の過去の危機的状況はすべて縄文パワーで乗り切ってきた」と断言する。今こそ、縄文道を過去から未来に繋ぐ道として学び、日本再生の道しるべとし同時に、縄文人が長期にわたって自然と共生し平和を維持してきた普遍の精神を伝えたい。

●どなたでも参加出来ますので、12月5日までにメール：Cumsophia@sophiakai.gr.jp かwebエントリー：<http://www.sophiakai.gr.jp/news/others/2018121001.html> にお申込み下さい。

主催マスコミ・ソフィア会